



令和6年度 第2回 新栄高等学校学校運営協議会 議事録

開催日：令和6年9月7日（土）10:30～11:10

議 題：翌檜祭視察及び新栄高校のこれからの在り方についての意見聴取

出席者：学校運営協議会委員4名（欠席3名） 校長、副校長、教頭

○新栄高校のこれからの在り方についての意見聴取

	意見・質問・感想等
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・みどり支援学校生徒も文化祭に参加し、多文化共生に関する調べ学習をもとに作品展示や来校者に説明を行った。 ・災害発生時の対応を考え、防災マニュアルの見直しを行い、みどり支援職員の分担も明示されるようになったことは、大変ありがたい。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭も近隣中学生・保護者が見学に来て、違った雰囲気になっている。新栄生徒の生の姿を見る良い機会である。 ・多文化教育に対する職員意識の変容が見られるようになったことは成果である。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の娘も台湾文化体験講座に出席し、異文化理解を深めることができた。機会を与えてくれた学校に感謝している。五感で感じる体験は魅力的である。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携事業を通し、実際に触れ合うことで、生徒を見る目に変化する。 ・多文化教育の取組を通して、職員の意識改革も図れたことは成果である。今後も継続できるよう組織的な取組を望む。 ・みどり支援と国際交流発表ブースを見たが、工夫がなされていた。もう少し時間があればじっくり楽しめたと思う。中学生やその保護者も堪能したと思う。金券制はトラブルが起きなくてよい。

第2回地域連携部会 11:00～11:10

☆学校より

・昨年から多文化教育を学校目標に掲げ、様々な取組を実施してきた。今年も夏期講習では、「初級韓国語」、「ボツワナ大使館訪問」、「台湾文化体験講座」を開講し、延べ30名程度の生徒が参加した。韓国・台湾の高校生とオンライン交流を行うことで、異文化理解の深化だけでなく、語学学習に対するモチベーションの向上も図ることができた。更なる事業活性化を目指し、今年12月には、台湾交流校の受け入れを実施する予定である。授業参加、ランチミーティング、フィールドトリップ等を予定している。在県外国人生徒の参画も積極的に推進する。また、今後、本校生徒を韓国・台湾に派遣する計画も検討している。

・10月6日のDE&Iフェスティバル、10月27日の仲町台地区センター祭りには、本校の複数部活が参加する。日頃の活動の成果を地域に還元したいと考えている。